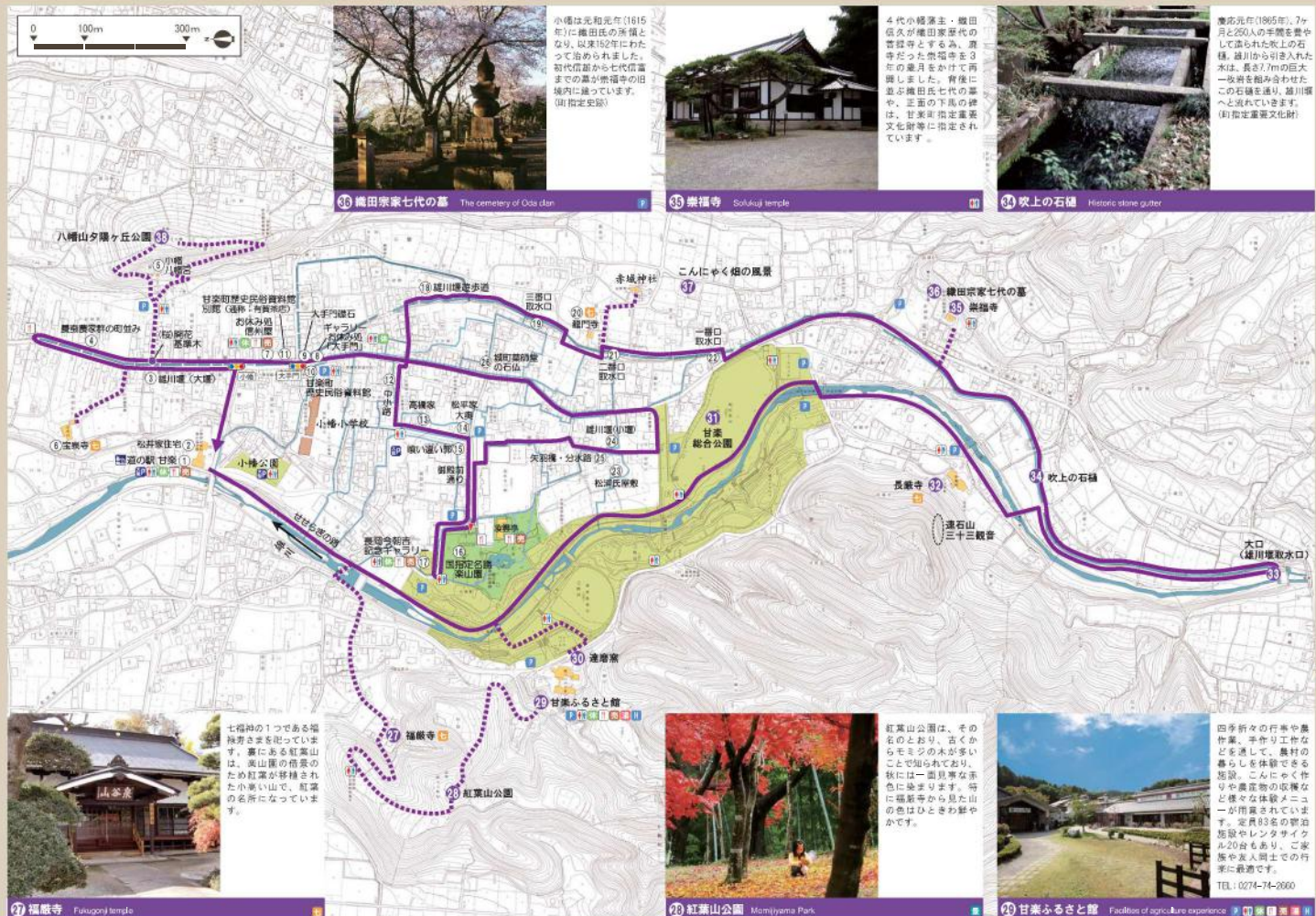


先人の知恵「雄川堰」を辿る(1日コース) ~ 歩きたくなるみち500選 信長の系譜・城下町小幡の歴史をたどるみち ~

自然豊かな雄川の流れを体感するとともに、雄川堰の水源地を訪ね、雄川堰にまつわる先人の知恵に触れるコース

- 1 国道の駅 甘菜 1.3km
- 2 甘菜ふるさと館 3.2km
- 3 大口(雄川堰取水口) 3.3km
- 12 中小路・御前通り 0.5km
- 16 国指定名勝 紅葉山園 2.2km
- 17 長岡今朝吉記念チャラー 1.2km
- 1 国道の駅 甘菜 計 11.7km



小幡の桜並木中間にある小幡八幡堂の裏山の公園です。標高234.6mの高さから、樹を360度見渡すことができ、抜群の景観を誇ります。木々あひのみち「花あめのみち」など、バリエーション豊かなトレイルコースが整備されており、散策を楽しむことができます。

38 八幡山夕陽ヶ丘公園 Hachimanyama Yuhigakka park

小幡放下では、肥沃で水はけの良い土壌を活かして、こんにゃく畑の風景が広がっています。古い町並みをとよりまくように広がるこんにゃく畑のまばらな緑と農作業風景は、初夏から初冬の風物詩となっています。

37 こんにゃく畑の風景 Field of arum root

七福神の一つである福祿寿さまを祀っています。裏にある紅葉山は、美山園の紅葉のため紅葉が移植された小幡いし山で、紅葉の名所になっています。

27 福祿寺 Fukuroji temple

小幡は元和元年(1615年)に織田氏の承領となり、以来162年にわたって治められました。近代信濃から七代信濃までの墓が御前町の旧境内に集っています。(国指定史跡)

36 織田宗家七代の墓 The cemetery of Oda clan

4代の稲葉主・織田信久が織田宗家時代の菩提寺とする為、遺跡だった宗福寺を3年の歳月をかけて再興しました。背後に息ぶ織田氏七代の墓や、正面の下瓦の礎石、土間の下瓦の礎石は、甘菜町指定重要文化財等に指定されています。

35 宗福寺 Sokufuji temple

慶応元年(1865年)7月と250人の手懸を費やして築かれた吹上の石樋。雄川から引き入れた水は、長さ7.7mの巨大一石樋を組み合わせたこの石樋を通り、雄川堰へと流れていきます。(国指定重要文化財)

34 吹上の石樋 Historic stone gutter

雄川の水を雄川堰に取り込んでいた取水口です。雄川は小幡地区の西側を北流しており、小幡台地より7.20mほど低い為、大手門から約2.3km上流に取水口が設けられました。

33 大口(雄川堰取水口) Water intake of Ogawa channel

七福神の一つである黒沙門天さまを祀っています。連石山二十二軒堂や天狗岩があります。

32 長祿寺 Chogonji temple / 天狗岩 Tengokawa

「日本の歴史公園100選」にも認定されている甘菜ふるさと緑陰緑の公園。広大な自然の中に充実したスポーツ施設があり、運動したり、遊歩道を散策したり、自然との触れ合いを楽しめます。

31 甘菜総合公園 Kaiwa comprehensive park

紅葉山公園は、その名のとおり、古くからモミジの水がまいこと知られており、秋には一面見事な赤色に染まります。特に福祿寺から見た山の色はひととき鮮やかです。

28 紅葉山公園 Momiyama Park

四季折々の行事や農作業、手作り工作などを通じて、農村の暮らしを体験できる施設。こんにゃく作りや農産物の収穫など様々な体験メニューが用意されています。定員30名の観音船遊覧やレンタサイクル20台もあり、ご家族や友人同士での行事に最適です。

29 甘菜ふるさと館 Facilities of agriculture experience

甘菜ふるさと館の敷地内に、伝統的な醸し方を継ぐ土の窯が復活しました。富岡製糸場建設時の瓦も同様な窯で焼成されています。運搬が難しいものは焼き物としての味や風合いが感じられます。

30 運慶窯 Daruma gama (a kiln)

TEL: 0274-74-2600